

研究・調査報告書

報告書番号	担当
290	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)	
[Status of adolescent drinking habits in Japan: results of the 1996, 2000 and 2004 surveys]	
日本における青少年飲酒の実態：1996,2000,2004 年全国調査の結果から	
執筆者	
Ozaki Y, Higuchi S, Suzuki K, Wada K, Oida T, Minowa M, Tanihata K, Hayash K.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Nihon Arukoru Yakubutsu Igakkai Zasshi. 2007 Dec;42(6):590-4.	
キーワード	
要 旨	
<p>厚労省の研究班において1996年、2000年、2004年の3回、中高生の飲酒に関する全国調査を実施した。全国を代表するような標本抽出を行った。対象の中学校は約130校、約11000人対象、高等学校は約100校、約5000人を対象とした。最近1ヶ月で飲酒した者の割合は、中学1年男子で1996年26.0%、2000年24.5%、2004年16.5%と低下傾向にあった。高校3年男子ではそれぞれ54.9%、53.4%、41.5%、高校3年女子ではそれぞれ43.4%、45.2%、37.4%であった。どの学年においても2004年には大きく減少する傾向にあった。この結果には、周囲の人の影響、友人のネットワークの減少、学校や自治体での対策の推進、経済的理由などの要因が考えられた。</p>	